

おとくライン
付加サービス
ご利用ガイド

日本の電話サービスを、変える。

おとくライン

付加サービス

ご利用ガイド総合版



SoftBank

キャッチ電話サービス	アナログ	ISDN	3
番号表示サービス	アナログ	ISDN	6
番号通知リクエストサービス	アナログ	ISDN	9
着信お断りサービス	アナログ	ISDN	12
着信転送サービス	アナログ	ISDN	20
<small>多機能転送サービス提供にともない、この着信転送サービスの新規申込受付は終了しております。</small>			
多機能転送サービス	アナログ	ISDN	23
転送の種類	24		
アナログ回線編	26		
ISDN回線編	38		
リモートコントロールの操作方法	46		
三者通話サービス	アナログ		53
短縮電話サービス	アナログ		56
ダブル番号サービス	アナログ		58
着信番号案内サービス	アナログ		60
ISDN 番号追加サービス		ISDN	63
ダイヤルアップサービス	アナログ	ISDN	64
サービス対応表			68



付加サービスのお申し込み・設定変更
<http://tm.softbank.jp/poq/>
 よくあるご質問 (FAQ)
<http://tm.softbank.jp/pofaq/>

お電話でのお問い合わせ
 「おとくライン」カスタマーセンターへ 9:00～18:00/土日祝・年末年始を除く

☎ 0088-221-221 または 0120-917-221

キャッチ電話サービス

電話でお話中に、他の方から電話がかかってきたときに、受話器から『プッ・プッ・・・』の割込音でお知らせした後、最初にお話していた方を一時的に保留して、後からかかってきた他の方とお話することができるサービスです。



ご利用方法

お話し中の相手にお待ちいただき、
後からかかってきた電話に応答する場合

- ①お話し中に、お客様の受話器から「ブブッ・ブブッ・・・」という割込音が聞こえます。
(後からかかってきた方には、普通の呼出音「トゥルル・・・」が聞こえています。)
- ②お話し中の相手にそのままお待ちいただく了解を得る。
- ③フックスイッチ(受話器を置くところ)または、フックボタンを1回押します。(電話機によっては、フックボタンを「フラッシュ」[④]と表示している場合があります。)
- ④後からかかってきた方とお話できます。
(お待ちいただいている方には保留音が流れます。)
- ⑤後からかかってきた方とお話しが終わったら、フックスイッチまたはフックボタンをもう1度押します。
- ⑥最初にお話ししていた方との通話に戻ります。

*フックスイッチを押すことにより、何度でも通話を切り替えることができます。
*お待ちいただいている間も、電話をかけた方に通話料金がかかります。

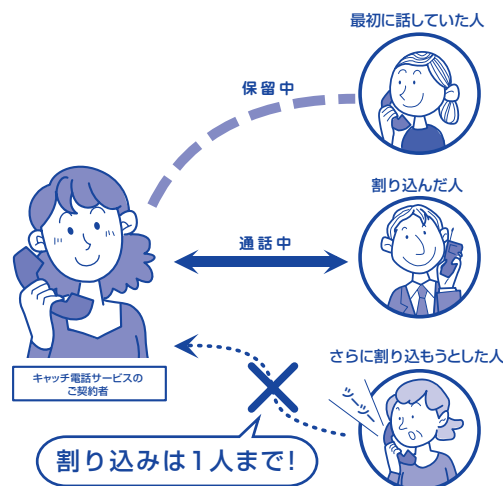
お話し中の通話を終了し、
後からかかってきた電話に応答する場合

- ①お話し中に、お客様の受話器から「ブブッ・ブブッ・・・」という割込音が聞こえます。(後からかかってきた方には、普通の呼出音「トゥルル・・・」が聞こえています。)
- ②お話し中の通話を終えて、受話器を置きます。
- ③すぐに電話機のベルが鳴ります。
- ④受話器を取ると、後からかかってきた方とお話できます。

割込音が鳴らないことがあります。

- 電話をかけようとして…
 - 発信音(ダイヤルトーン「ブーッ…」)が聞こえている場合
 - ダイヤル途中の場合
 - 相手呼び出ししている場合
- 緊急特番「110番」、「118番」、「119番」とお話し中の場合

- 各サービスの設定中(例えば、転送先電話番号の登録中等)
- キャッチ電話サービスを実行しているとき、新たなキャッチ電話サービス着信はご利用できません。

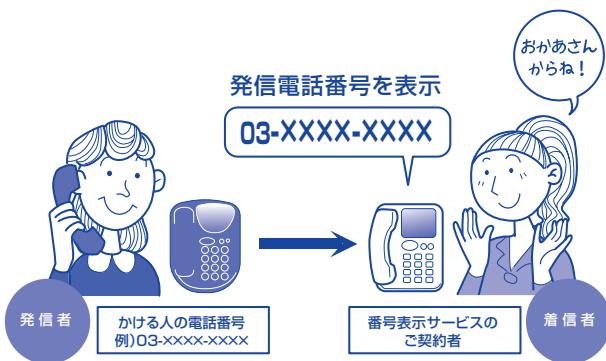


ご利用上のご注意

- 番号表示サービスと併用した場合、通話中にかかってきた電話番号は表示されません。
 - 番号通知リクエストサービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
 - 多機能転送サービスと併用した場合、次のようになります。
(アナログ回線の場合)
 - ・無条件転送:無条件転送を優先します。なお、転送中をお知らせする短い信号音は送出されません。
 - ・無応答時転送:あらかじめ設定した時間内に、お客様が、「キャッチ電話サービス」で応答した場合には、転送されません。
 (ISDN回線の場合)
 - ・無条件転送:無条件転送を優先します。
 - ・無応答時転送:あらかじめ設定した時間内に、お客様が、「キャッチ電話サービス」で応答した場合には、転送されません。
 - ・話中時転送:空き回線(Bチャンネル)がない場合は、話中時転送を優先します。
 - 三者通話サービスをご利用中にキャッチ電話サービスはご利用できません。
 - ダブル番号サービスを開始状態にした場合、主電話番号への着信はダブル番号サービスが優先されます。
 - 着信お断りサービスと併用した場合、迷惑電話として登録された電話番号からの着信は、着信お断りサービスによる着信拒否が優先されます。
 - ISDN番号追加サービスと併用した場合、着信時はそれぞれ番号ごとの動作になります。
- *フックスイッチまたはフックボタンを長く押しすぎると、通話が切れることがあります。

番号表示サービス

かけてきた相手の電話番号(もしくは通知できない場合はその理由)が電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。電話を取る前にかけてきた相手分かることから、安心して電話に出ることができ、万全の対応ができます。



ご利用方法

- ①電話がかかってきたときに、電話機等のディスプレイに、かけてきた相手の電話番号(もしくは通知できない理由)が表示されます。
- ②ディスプレイ表示の確認ができましたら、通常通り受話器を取ってお話しください。

* お持ちの電話機、通信機器にディスプレイが付いていても、本サービス相当に対応していない製品の場合は、ご利用になれませんのでご注意ください。

電話機やTA(ターミナルアダプタ)等のディスプレイに表示される内容

発信番号通知状態	通信機器への表示内容例
加入電話、ISDN、携帯電話等からの発信	[03-XXXX-XXXX]、 [080-XXXX-XXXX]等
IP電話[050]番号からの発信	[050-XXXX-XXXX]等
公衆電話からの発信	[公衆電話]、[コウシュウデンワ]、 [C]等
[非通知]の通話(加入電話、ISDN)	[非通知]、[ヒツウチ]、[P]等
国際電話等で電話番号を表示できない通話	[表示圏外]、[ヒョウジケンガイ]、 [O]、[S]等

* かけてくる相手の通知状況により表示内容が異なる場合があります。

* ご利用の通信機器によっては、表示内容が異なる場合があります。

通信機器について

- 番号表示サービスをご利用いただくには、お客様にて「ナンバー・ディスプレイ」対応の電話機やアダプタをご用意していただく必要があります。また、機器が正しく設定されておりませんと、本サービスがご利用いただけません。具体的な設定方法につきましては、電話機等に添付の取り扱い説明書をご参照願います。
- 本サービスに対応していない電話機をご利用の場合は、本サービス対応のアダプタを必ず設置してください。
- ISDN回線をご利用のお客様で、TAのアナログポートに本サービス対応の通信機器を接続して本サービスを利用される場合、TAのアナログポートが本サービスに対応しており、正しく設定されている必要があります。
- TAのアナログポートに電話機を接続して、電話番号を表示させる場合、TAと電話機の両方がサービスに対応している必要があります。

通信機器接続時のご注意

- 多機能転送サービスと併用の場合、本サービスのご提供日までに、サービス対応の通信機器にお取替えのうえ、サービス相当の機能を「利用する」に設定してください。
- 本サービス対応の通信機器の設置とその設定がされていない場合、電話番号が表示されなかったり、通話ができない場合があります。
- 本サービスを利用している電話回線に、サービス対応の通信機器と対応していない自動応答端末(留守番電話機やFAX等)を同時に接続すると、接続方法によっては、電話番号の表示ができなかったり、途中で通話が切断される場合があります。
- 通信機器の接続形態や機種により正常に作動しない場合があります。詳しくは各メーカーまたは、販売店にお問い合わせください。

ご利用上のご注意

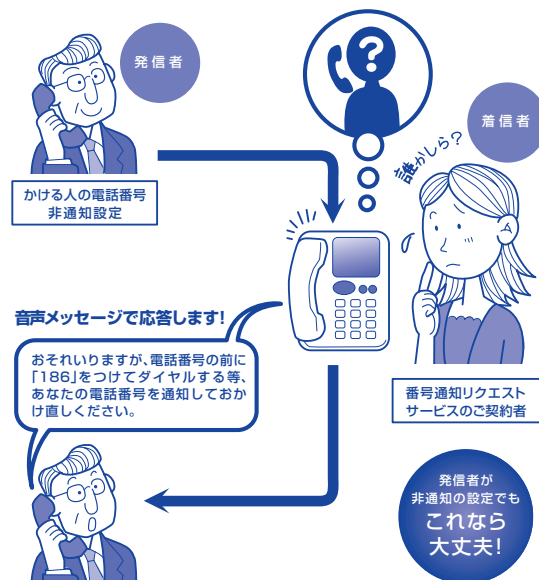
- 他事業者からの切り換えの場合、機器の設定がリセットされるケースがありますので再設定をしてください。
- 「おとくライン」の開通日に本サービス対応の通信機器の番号表示の設定を行っていない場合番号表示がされず、通常とは異なる着信音が鳴ります。そのまま受話器を取ると雑音が聞こえます。このような不具合が出た場合は番号表示の設定をお願いします。番号表示の設定がすぐにはできない場合は以下の対応をお願いいたします。
 - ①着信後、5～6秒程度お待ちください。
 - ②着信音が一度途切れ、通常の呼出音が鳴り始めます。
 - ③受話器をお取りください(通常通り通話可能です)。
- ダイヤルインサービスと併用する場合、ダイヤルインサービスはモデム信号方式での提供となります。
- アナログ回線で着信転送、あるいは多機能転送の無条件転送開始中は番号表示サービスが機能しませんので、転送された通話の電話番号は電話機等に表示されません。また、着信転送、あるいは多機能転送の無条件転送を開始中、電話機等の番号表示サービス機能を「ON」のままにしておくと、転送中である旨をお知らせする着信音が鳴らなくなりますので、電話機等の設定を「OFF」にしてください。
- キャッチ電話サービスと併用した場合、通話中にかかってきた番号は表示されません。かかってきた電話に出る前に、最初の電話を切っても同様に表示されません。



番号通知リクエストサービス

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に対し、音声メッセージで応答し、電話番号を「通知」してかけ直すよう伝えるサービスです。

- * 発信専用回線でのお申し込みはできません。
- * 音声メッセージが流れている間も、かけてきた人には通話料金がかかります。
- * カスタマコントロールはすべてDTMF(PB)信号にて行います。
- * 代表取扱及びダイヤルインサービスをご利用の場合は「付加サービス(ご利用ガイド別冊)代表取扱/ダイヤルイン回線版」をご参照ください。



ご利用方法

サービスを開始する場合(ご契約時は停止状態です)

- ①受話器をあげて「148」をダイヤルします。
- ②「現在、このサービスは停止しています。サービスの停止は数字の「0」、サービスの開始は数字の「1」を押してください」のアナウンスが流れます。
- ③「1」を押します。
- ④「サービスを開始いたします」のアナウンスが流れます。
- ⑤登録完了です。受話器を置いてください。

*サービスを開始状態にすると、電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、電話番号を通知してかけ直すよう音声メッセージで応答します。「おそれ入りますが、電話番号の前に、「186」をつけてダイヤルする等、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」

サービスを停止する場合

- ①受話器をあげて「148」をダイヤルします。
- ②「現在、このサービスは開始しています。サービスの停止は数字の「0」、サービスの開始は数字の「1」を押してください」のアナウンスが流れます。
- ③「0」を押します。
- ④「サービスを停止いたしました」のアナウンスが流れます。
- ⑤登録完了です。受話器を置いてください。

*サービス開始/停止操作に料金はかかりません。
*サービス停止状態で停止操作、サービス開始状態で開始操作を行っても問題ありません。
*メッセージによる応答時には、呼出音は鳴りません。
*メッセージによる応答時には、かけてきた相手に通常の通話料金がかかります。
*本サービスを開始するには、ご契約のお電話番号からダイヤル操作で「開始」設定をしてください。
*本サービスご契約者が通話中の場合も、本サービスは機能します。

ISDN回線をご契約の場合

ISDN回線の場合、「148」の後の[0 / 1]はPB(プッシュボタン)信号で指定する必要があります。PB信号を送出するための操作が必要な端末がありますのでご注意ください。また、PB信号を送出できない機種がありますが、この場合はご利用ができません。

ご利用上のご注意

- 他事業者からの切り換えの場合、設定がリセットされていますので再設定が必要になります。
- 多機能転送サービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- キャッチ電話サービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- 番号通知リクエストサービスによって着信拒否された通話は、着信番号案内サービスで案内されません。
- ダブル番号サービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- 着信お断りサービスと併用した場合、着信お断りサービスによる着信拒否が優先されます。
- 三者通話サービスと併用した場合、三者通話の第2コールで番号通知リクエストサービスのご利用はできません。
- ISDN番号追加サービスと併用した場合、追加番号ごとにサービスの開始、停止登録が必要になります。
- 電話交換設備のメンテナンス作業や工事を行ううえでやむを得ない場合、お客様が電話機から行われた直前の開始/停止操作が取り消されることがあります。
- 電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に対して音声メッセージの応答を行います。公衆電話と海外からの発信者番号無しの着信は含まれません。
- 移転、電話番号変更、代表取扱/ダイヤルインサービスやアナログ⇄ISDN64回線間のサービス変更を行った場合は、サービス設定がリセットされ、初期設定の「停止」に戻ります。

着信お断りサービス

迷惑電話を受けた直後に、お客様の電話機から登録操作を行うことにより拒否リストに登録をし、以後、同じ電話番号からかかってきた場合に、お客様に代わって「着信お断りメッセージ」を流して、着信を規制するサービスです。

- *「拒否リスト」は「おとくライン」の交換機上で管理されている着信を拒否する電話番号リストのことです。ご契約の回線構成に応じて、単独回線で利用する場合と、代表回線群で共有する場合があります。
- *かけてきた相手には、着信お断りメッセージが流れている間も通話料金がかかります。
- *アナログ単独回線とアナログ単独回線以外の回線構成では、登録操作が異なりますのでご注意ください。
- *発信専用回線でのお申し込みはできません。
- *カスタムコントロールはすべてDTMF(PB)信号にて行います。
- *代表取扱及びダイヤルインサービスをご利用の場合は「付加サービス(ご利用ガイド別冊)代表取扱/ダイヤルイン回線版」をご参照ください。

迷惑電話の直後に登録



迷惑電話にメッセージが応答



アナログ回線編

番号	設定項目	設定方法
①	迷惑電話の相手の登録方法	いったん、電話を切ります。 1 4 4 2
②	登録電話番号の最新1件の削除方法	1 4 4 3
③	登録電話番号の一括削除方法	1 4 4 9

:アナウンスに従ってダイヤルしてください。 :受話器を置いてください。

*アナログ単独回線以外でご利用の場合は「ISDN回線編」と同じ登録操作になります。

1 迷惑電話の相手の登録方法

迷惑電話の相手を登録します。

- ①迷惑電話を受けたとき、いったん電話を切ってください。
- ②受話器をあげて「144」をダイヤルします。

アナウンス

現在登録されている電話番号は□□個です。拒否登録するときには、数字の「2」、登録されている電話番号をすべて解除するときには、数字の「9」、最も新しい登録だけを解除するときには、数字の「3」をダイヤルしてください。

- ③「2」を押してください。

アナウンス

登録を完了しました。現在登録されている電話番号は、□□個です。

- ④設定完了です。受話器を置いてください。

■登録件数が100件の場合

アナウンス

登録限度数を超えましたので、最も古い登録を取り消し、ただ今の電話番号を登録しました。

すでに登録されている番号の場合

アナウンス

この電話番号はすでに登録されています。

相手の番号が不明、および海外からの着信の場合

アナウンス

相手の電話番号を確認できないので、登録できません。

- *登録された電話番号から再度着信があるとメッセージが自動的に流れます。「この電話は、お受けできません。ご了承ください。」
- *登録できる電話番号は最大100件までです。それ以上、さらに登録すると登録した電話番号の中で最も古いものを取り消し、新しい番号を登録します。
- *発信者の電話番号が非通知の場合(発信者が「184」を付けて発信した場合等)も登録可能です。
- *登録済の電話番号は確認できません。
- *迷惑電話に回答しているときでも、電話の発信や着信は通常通りご利用いただけます。
- *かかってきた電話に対して着信お断りサービスを登録しますので、ご自分で電話番号を登録することはできません。

2 登録電話番号の最新1件を削除する場合

現在登録されている迷惑電話1件を削除します。

①受話器をあけて「144」をダイヤルします。

アナウンス

現在登録されている電話番号は□□個です。拒否登録するときには、数字の「2」、登録されている電話番号をすべて解除するときには、数字の「9」、最も新しい登録だけを解除するときには、数字の「3」をダイヤルしてください。

②「3」を押してください。

アナウンス

もっとも新しい登録の電話番号を解除しました。現在登録されている電話番号は□□個です。

③解除完了です。受話器を置いてください。

3 登録電話番号の一括削除する場合

現在登録されている迷惑電話全件を一括削除します。

ご注意:登録されている電話番号がすべて解除されます。操作は慎重に行ってください。

①受話器をあけて「144」をダイヤルします。

アナウンス

現在登録されている電話番号は□□個です。拒否登録するときには、数字の「2」、登録されている電話番号をすべて解除するときには、数字の「9」、最も新しい登録だけを解除するときには、数字の「3」をダイヤルしてください。

②「9」を押してください。

アナウンス

現在登録されている電話番号をすべて解除しました。

③解除完了です。受話器を置いてください。

ご利用上のご注意

アナログ回線編

- 他事業者からの切り換えの場合、設定がリセットされていますので再設定が必要になります。
- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、着信お断りサービスによる着信拒否が優先されます。
- 着信転送サービスまたは多機能転送サービスと併用した場合、転送通話は迷惑電話として登録できません。また、番号登録されている相手からの着信時の転送は行いません。
- 着信お断りサービスにより着信拒否された通話のキャッチ電話サービス着信は行われません。
- 着信番号案内サービスと併用した場合、着信拒否された通話の着信番号はご案内できません。
- ダブル番号サービスと併用した場合、着信お断りサービスが優先されます。
- 三者通話サービスと併用した場合、三者通話の第2コールで着信お断りサービスはご利用できません。
- キャッチ電話サービスと併用した場合、最後に着信し通話状態となった通話が登録対象となります。最後に着信しても通話状態にならなかった通話は登録対象となりません。

<ケース1>

- ・迷惑電話を受けているときにキャッチ電話サービス着信した場合、迷惑電話がかかっている最中にキャッチ電話サービス着信した場合は、切替操作をせずに最初の電話を切り、キャッチ電話サービスの呼出音が鳴らなくなってから登録操作を行ってください。切り替えてしまうと、切り替えた通話が登録の対象となります。

<ケース2>

- ・キャッチ電話サービス着信した電話が迷惑電話だった場合、通話中にキャッチ電話サービスで切り替えた通話が迷惑電話だった場合、最初の方との通話が終わった後にいったん受話器を置いてから登録操作を行ってください。
- 移転、電話番号変更、代表取扱/ダイヤルインサービスやISDN回線へのサービス変更を行った場合は、サービス設定がリセットされ、拒否リストも消去されます。
- 電話交換設備のメンテナンス作業や工事を行ううえでやむを得ない場合、拒否登録されている電話番号の一部もしくはすべてが消去される場合があります。



ISDN回線編



番号	設定項目	設定方法
①	迷惑電話の相手の登録方法	受話器を置かずにアナウンスを聞きます。 ☎ ☎ 1 4 4 + 2 ☎ ☎
②	登録電話番号の最新1件の削除方法	1 4 4 ☎ 3 ☎ ☎
③	登録電話番号の一括削除方法	1 4 4 ☎ 9 ☎ ☎

☎:アナウンスに従ってダイヤルしてください。☎:受話器を置いてください。
+:数字を続けてダイヤル。

1 迷惑電話の相手の登録方法

迷惑電話の相手を登録します。

- ①迷惑電話を受けたとき、電話を切らずにアナウンスを聞きます。

迷惑電話の登録を行わない場合は、①のアナウンスを無視して電話をお切りください。

☎ アナウンス

通信が切断されました。ただ今の相手先を拒否登録されない場合はそのまま電話をお切りください。

- ②①に続けて以下のアナウンスを聞きます。

☎ アナウンス

着信お断りサービスです。ただ今の相手先を拒否登録するときには1442をダイヤルしてください。

- ③「1442」を押してください。

☎ アナウンス

登録を完了しました。現在登録されている電話番号は、□□個です。

- ④設定完了です。受話器を置いてください。

■登録件数が100件の場合

☎ アナウンス

登録限度数を超えましたので、最も古い登録を取り消し、ただ今の電話番号を登録しました。

■すでに登録されている番号の場合

☎ アナウンス

この電話番号はすでに登録されています。

■相手の番号が不明、および海外からの着信の場合

☎ アナウンス

相手の電話番号を確認できないので、登録できません。

- *登録された電話番号から再度着信があるとメッセージが自動的に流れます。「この電話はお受けできません。ご了承ください。」
- *登録できる電話番号は最大100件までです。それ以上、さらに登録すると登録した電話番号の中で最も古いものを取り消し、新しい番号を登録します。
- *発信者の電話番号が非通知の場合(発信者が「184」を付けて発信した場合等)も登録可能です。
- *登録済みの電話番号は確認できません。
- *迷惑電話に応答しているときでも、電話の発信や着信は通常通りご利用いただけます。
- *かかってきた電話に対して着信お断りサービスを登録しますので、ご自分で電話番号を登録することはできません。

2 登録電話番号の最新1件を削除する場合

現在登録されている迷惑電話最新1件を削除します。

- ①受話器をあげて「144」をダイヤルします。

☎ アナウンス

現在登録されている電話番号は□□個です。登録されている電話番号をすべて解除するときには、数字の「9」、最も新しい登録だけを解除するときには、数字の「3」をダイヤルしてください。

②「3」を押してください。

アナウンス

最も新しい登録の電話番号を解除しました。現在登録されている電話番号は□□個です。

③解除完了です。受話器を置いてください。

3 登録電話番号の一括削除する場合

現在登録されている迷惑電話全件を一括削除します。

ご注意：登録されている電話番号がすべて解除されます。操作は慎重に行ってください。

①受話器をあげて「144」をダイヤルします。

アナウンス

現在登録されている電話番号は□□個です。登録されている電話番号をすべて解除するときには、数字の「9」、最も新しい登録だけを解除するときには、数字の「3」をダイヤルしてください。

②「9」を押してください。

アナウンス

現在登録されている電話番号をすべて解除しました。

③解除完了です。受話器を置いてください。

ISDN回線をご契約の場合

ISDN回線の場合、「1442」および「144」の後の[3 / 9]はPB(プッシュボタン)信号で指定する必要があります。PB信号を送出するための操作が必要な端末がありますのでご注意ください。また、PB信号を送出できない機種がありますが、この場合はご利用ができません。

ご利用上のご注意

ISDN回線編

- IVR(自動応答端末)やボイスメールなど、着信を前提とした機器に接続の場合は、発信者の切断後に着信お断りアナウンスが流れ、お客様の利便性を損なう恐れがありますのであらかじめご了承ください。
- 他事業者からの切り換えの場合、設定がリセットされていますので再設定が必要になります。
- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、着信お断りサービスによる着信拒否が優先されます。
- 着信転送サービスまたは多機能転送サービスと併用した場合、転送通話は迷惑電話として登録できません。また、番号登録されている相手からの着信時の転送は行いません。
- 着信お断りサービスにより着信拒否された通話のキャッチ電話サービス着信は行われません。
- キャッチ電話サービスと併用した場合、切替操作の有無に関わらず、キャッチ電話サービス着信した時点で、着信お断りのアナウンスが流れなくなり、迷惑電話の登録ができません。
- ISDN番号追加サービスをご利用の場合は、ポート1～ポート3番号共通で登録済みの迷惑電話を規制できます。
- 移転、電話番号変更、代表取扱/ダイヤルインサービスやアナログ回線へのサービス変更を行った場合は、サービス設定がリセットされ、拒否リストも消去されます。
- 電話交換設備のメンテナンス作業や工事を行ううえでやむを得ない場合、拒否登録されている電話番号の一部もしくはすべてが消去される場合があります。



着信転送サービス

かかってきた電話を、契約者があらかじめ指定した電話番号に転送するサービスです。

多機能転送サービス提供にともない、この着信転送サービスの新規申込受付は終了しております。

ご利用方法

転送先を登録する場合

- ①受話器をあげて「1422」をダイヤルします。
- ②セカンドダイヤルトーン「ブッ・ブッ・ブッ・・・」が聞こえます。
- ③転送先電話番号をダイヤルします。
- ④「ご指定の設定を完了しました」のアナウンスが流れます。
- ⑤設定完了です。受話器を置いてください。

* サービス開始状態でさらに登録操作を行うと登録内容は保存されますが、サービス状態は停止となりますので、転送開始の設定を行ってください。

転送を開始する場合

- ①受話器をあげて「1421」をダイヤルします。
- ②「サービスを開始いたします」のアナウンスが流れます。
- ③設定完了です。受話器を置いてください。

* 転送先番号を登録しないでサービス開始操作を行うとビジートーン「ツッ・ツッ…」となります。

* サービス開始状態で開始操作を行ってもサービス開始状態は保持されます。

転送を停止する場合

- ①受話器をあげて「1420」をダイヤルします。
- ②「サービスを停止いたしました」のアナウンスが流れます。
- ③設定完了です。受話器を置いてください。

* サービス停止状態で停止操作を行ってもサービス停止状態は保持されます。

* ご契約回線からの設定を行ってください。

* ご契約時は転送停止状態に設定されていますので、転送をご利用の場合は、必ず転送開始の設定を行ってください。

* 転送先として指定できる電話番号は下記の表を参照ください。

<設定可能な番号>

種類	電話番号体系
固定電話	ご自宅などの電話番号 (市外局番+市内局番+加入者番号)
携帯電話/PHS	「090」、「080」、「070」で始まる番号
IP電話(一部事業者を除く)	「050」で始まる番号
国際通話	「010」で始まる番号
短縮番号(短縮電話サービス)*	「*△△」で設定された番号

<設定できない番号>

種類	電話番号体系
緊急特番等	「110」(警察)、「119」(消防)など 3桁の数字でつながる番号
番号通知方法指定	「184」もしくは「186」+相手先電話番号
「フリーダイヤル」/フリーコールスパー等	「0120」、「0800」で始まる番号
「ナビダイヤル」等	「0570」で始まる番号
災害募金サービス	「0990」で始まる番号
伝言ダイヤル	「0170」で始まる番号
ポケットベル	「020」で始まる番号
#ダイヤル	「#」+4桁の数字でつながる番号
その他	「0077」などの事業者番号で始まる番号 +自分の電話番号

* アナログ回線でのみ利用可能です。

* 短縮番号での登録は可能ですが、指定された元の電話番号での登録となります。登録後のアナウンス等は元の電話番号で行われます。

ISDN回線でご契約の場合

ISDN回線の場合、登録電話番号はPB(プッシュボタン)信号で指定する必要があります。PB信号を送出するための操作が必要な端末がありますので、ご注意ください。

また、PB信号を送出できない機器があり、この場合はご利用できません。

ご利用上のご注意

- アナログ回線で着信転送開始中は番号表示サービスが機能しませんので、転送された通話の電話番号は電話機等に表示されません。また、着信転送を開始中、電話機等の番号表示サービス機能を「ON」のままにしておくと、転送中である旨をお知らせする着信音が鳴らなくなるしますので、電話機等の設定を「OFF」にしてください。
- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- キャッチ電話サービスと併用した場合、着信転送サービスが優先されます。また、転送中をお知らせする短い信号音は送出不されます。
- 転送される通話は、着信番号案内サービスでご利用いただけません。
- 着信お断りサービスと併用した場合、転送される通話は迷惑電話として登録できません。また、番号登録されている相手からの着信時は転送を行いません。
- ISDN番号追加サービスと併用した場合、追加番号ごとに着信転送サービスの開始/停止設定および転送先の登録が可能です。サービス特番(「1422」など)ダイヤル時に発信番号として設定対象の追加番号を送出する必要があります。(ISDN番号追加サービスに対応したTA等機器が必要です。)
- 電話をかける方(発信者)が番号通知を行って(転送元へ)発信し、転送先が番号表示可能な電話機をご利用の場合、転送先で表示される電話番号は発信者の番号となります。
- 三者通話サービスと併用した場合、三者通話の第2コールで着信転送のご利用はできません。
- 着信転送サービスとダブル番号サービスとの重複契約はできません。
- 着信転送時の通話料金は転送元に課金されます。
- 電話交換設備のメンテナンス作業や工事を行ううえでやむを得ない場合、お客様が電話機から行われた直前の開始/停止操作が取り消されることがあります。
また、転送先として登録されている電話番号が消去される場合もあります。この場合、再度電話番号を登録していただく必要があります。




三者通話サービス

3人で話したいとき、フックスイッチまたはフックボタンの操作で通話中の電話を保留にし、ダイヤル操作で第三者を呼び出した後、再びフックスイッチまたはフックボタンの操作（保留の解除）をすることにより、三者間通話ができるサービスです。



ご利用方法

- ①お話し中の相手Aに了解を得てそのままお待ちいただきます。
- ②フックスイッチまたは、フックボタンを1回押します。電話機によっては、フックボタンを「フラッシュ」「」と表示している場合があります。
- ③セカンドダイヤルトーン「プッ・プッ・プッ・・・」が聞こえたら、相手Bの電話番号をダイヤルします。

*この間相手Aには保留音が流れています。

④相手Bが応答すると、相手Aとの三者通話である旨、了解を得てフックスイッチまたは、フックボタンをもう1回押します。

⑤三者間で通話可能となります。

- *お待ちいただいている間も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- *三者通話ご契約者-相手Aの通話料金は発信した側にかかります。
- *三者通話ご契約者-相手Bの通話料金は発信した側(三者通話ご契約者)にかかります。
- *三者通話の第2コールとして次の表の番号はご利用できません。

サービス名	番号
着信お断りサービス	「144」
着信番号案内サービス	「136」
番号通知リクエストサービス	「148」
多機能転送サービス	「142」
ダブル番号サービス	「141」

*第1コールが緊急通話「110」、「118」、「119」であった場合は、フッキングによる三者目の呼び出しを行うことはできません。

ご利用上のご注意

- 三者通話サービスとキャッチ電話サービスは同時にご利用できません。
3人で通話しているときに着信があってもキャッチ電話サービスの着信はしません。
※発信者にはビジートーン「ツー・ツー・・・」が流れます。
通話中にキャッチ電話サービスの着信をしたとき、キャッチ電話サービスの着信をした相手を交えて3人で通話することはできません。
- 各サービスの設定中(たとえば、転送先電話番号の登録中等)にはご利用いただけません。

xxxx-0000



短縮電話サービス

よくかける相手の電話番号をあらかじめ電話機から登録しておくことにより、簡単なボタン操作で電話をかけることができます。20件まで登録できます。

*別途プッシュ電話サービスのお申し込みが必要です。

※01



お父さんのケータイ

※03



お友達のA子さん

※02



娘のケータイ

※04



実家のお母さん

たった3桁だから
覚えやすくカンタンね!

短縮電話サービス
のご契約者

ご利用方法

サービスを登録する場合

- ①受話器をあげて「0」「※」をダイヤルします。
- ②セカンドダイヤルトーン「ブッ・ブッ・ブッ・・・」が流れます。
- ③「△△」+相手先電話番号をダイヤルします。
「△△」：短縮番号(00~19)
- ④「ご指定の設定を完了しました」のアナウンスが流れます。
- ⑤登録完了です。受話器を置いてください。

*相手先電話番号として登録可能な桁数は最大24桁です。

*184/186を付けた番号は登録できません。(「0」「※」+「△△」+184/186+相手先電話番号)

登録した番号でかける場合

- ①受話器をあげて「※」「△△」をダイヤルします。
「△△」：短縮番号(00~19)
- ②短縮番号に対する相手先を呼び出します。
- ③相手が応答したらお話しください。

*184/186を付けてダイヤルすることは可能です。(184/186+「※」「△△」)

登録を削除する場合

- ①受話器をあげて「0」「※」をダイヤルします。
- ②セカンドダイヤルトーン「ブッ・ブッ・ブッ・・・」が流れます。
- ③「△△」をダイヤルします。
「△△」：短縮番号(00~19)
- ④「ご指定の設定を完了しました」のアナウンスが流れます。
- ⑤削除完了です。受話器を置いてください。

*契約回線からのみ登録/削除操作が可能です。

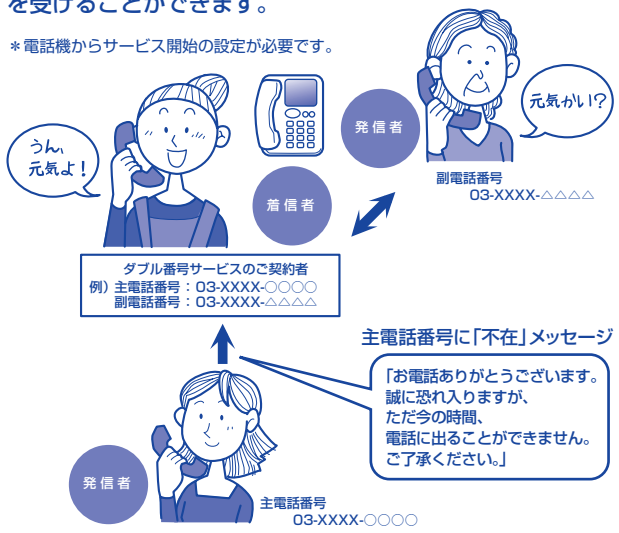
ご利用上のご注意

- 他事業者からの切り換えの場合、設定がリセットされていますので再設定が必要になります。
- プッシュ電話サービスのお申し込みが必須となります。
- 電話交換設備のメンテナンス作業や工事を行ううえでやむを得ない場合、短縮登録されている電話番号の一部もしくはすべてが消去される場合があります。この場合、再度電話番号を登録していただく必要があります。

ダブル番号サービス

ご契約回線の電話番号(主電話番号)の他に、もう一つ別の電話番号(副電話番号)をお使いいただけるサービスです。主電話番号にかかってきた電話には、お客様に代わって「不在」のメッセージを流すことができ、もう一つの副電話番号にかかってきた電話のみ受けることができます。また、サービスの停止をした場合には、両方の電話番号にかかってきた電話を受けることができます。

* 電話機からサービス開始の設定が必要です。



サービスを停止する場合

- ① 受話器をあげて「141」をダイヤルし、セカンドダイヤルトーン「ブッ・ブッ・ブッ・・・」の後に「0」をダイヤルします。
- ② 「サービスを停止いたしました」とアナウンスが流れます。
- ③ 設定完了です。受話器を置いてください。

* ご契約の電話番号からのみ開始/停止の操作が可能です。

ご利用上のご注意

- 他事業者からの切り換えの場合、設定がリセットされていますので再設定が必要になります。
- 発信者番号として通知されるのは主電話番号です。副電話番号を通知することはできません。
- 副電話番号の管理は慎重にお願いします。電話を受けたい人にだけ、副電話番号をお知らせください。
- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスによる着信拒否が優先されます。
- ダブル番号サービスを開始している場合は、主電話番号へのキャッチ電話サービスによる着信は行われません。
- 着信番号案内サービスと併用した場合、ダブル番号サービスで不在メッセージを流した通話は、番号案内の対象になりません。また、ダブル番号サービスを停止している場合は、主電話番号、副電話番号にかかわらず最後に着信した番号が番号案内の対象となります。
- 着信お断りサービスと併用した場合、着信お断りサービスが優先されます。
- 着信転送サービスとダブル番号サービスとの重複契約はできません。
- 三者通話サービスと併用した場合、三者通話の第2コールでダブル番号サービスのご利用はできません。
- 電話交換設備のメンテナンス作業や工事を行ううえでやむを得ない場合、お客様が電話機から行われた直前の開始/停止操作が取り消されることがあります。

ダブル番号サービス

ダブル番号サービス

ご利用方法

サービスを開始する場合

- ① 受話器をあげて「141」をダイヤルし、セカンドダイヤルトーン「ブッ・ブッ・ブッ・・・」の後に「1」をダイヤルします。
- ② 「サービスを開始いたします」とアナウンスが流れます。
- ③ 設定完了です。受話器を置いてください。
主電話番号に着信があった場合は「お電話ありがとうございます。誠に恐れ入りますが、ただ今の時間、電話に出ることができません。ご了承ください。」とアナウンスにより応答します。

* かけてきた方には通常通り通話料金が発生します。
* 副電話番号に着信があった場合は、通常通り電話が鳴りますので、受話器を取ってお話しください。



着信番号案内サービス

最後にかかってきた相手の電話番号を知りたいとき、「136」をダイヤルし、ガイダンスに従って操作することにより、かかってきた電話の相手先の電話番号を音声でお知らせするサービスです。相手先が電話番号を通知していた場合、そのまま「3」をダイヤルすれば、折返し電話もできます。

*事前申込は不要ですが、利用の都度、ご利用料金がかかります。

ご利用方法

着信番号案内を聞いて折返し電話をする場合

- ①受話器をあげて「136」をダイヤルします。
- ②「着信番号案内サービスです。1回の電話番号お知らせにつき税抜き30円の料金がかかります。最後にかかってきた相手の番号をお知らせする場合、数字の「1」を押してください。」のアナウンスが流れます。
- ③数字の「1」をダイヤルします。(この時点で30円(税抜)がかかります。)
- ④「〇〇月〇〇日 午前／午後〇〇時〇〇分に〇〇〇〇-〇〇〇〇から着信がありました。折返し電話をかけるときは数字の「3」、この記録を消去するときは数字の「9」を押してください。折返しの通話は通常の料金がかかります。」のアナウンスが流れます。
- ⑤数字の「3」をダイヤルします。
- ⑥最後に着信した電話番号に折返し電話をかけます。
- ⑦相手先が応答したら、通常通りお話しください。(通常の通話料金がかかります。)

登録を消去する場合

- ①受話器をあげて「136」をダイヤルします。
- ②「着信番号案内サービスです。1回の電話番号お知らせにつき税抜き30円の料金がかかります。最後にかかってきた相手の番号をお知らせする場合、数字の「1」を押してください。」のアナウンスが流れます。
- ③数字の「1」をダイヤルします。(この時点で30円(税抜)がかかります。)
- ④「〇〇月〇〇日 午前／午後〇〇時〇〇分に〇〇〇〇-〇〇〇〇から着信がありました。折返し電話をかけるときは数字の「3」、この記録を消去するときは数字の「9」を押してください。折返しの通話は通常の料金がかかります。」のアナウンスが流れます。
- ⑤数字の「9」をダイヤルします。
- ⑥「最後に着信した電話番号を消去しました。」のアナウンスが流れます。
- ⑦消去完了です。受話器を置いてください。

■着信記録がない場合

「着信番号案内サービスです。現在記録がないため、このサービスはご利用になれません。」が流れます。(このとき30円(税抜)はかかりません。)

■着信専用回線からの利用で、折返し通話しようとした場合

「お客様がおかけになった電話からはこの番号はご利用になれません。」のアナウンスが流れます。

■すでに聞いた着信番号の案内を再度聞く場合

「〇〇月〇〇日 午前／午後〇〇時〇〇分に〇〇〇〇-〇〇〇〇から着信がありました。折返し電話をかけるときは数字の「3」、この記録を消去するときは数字の「9」を押してください。折返しの通話は通常の料金がかかります。」のアナウンスが流れます。(このとき30円(税抜)はかかりません。)

■番号非通知の着信の場合

- 相手为非通知設定「着信番号案内サービスです。〇〇月〇〇日 午前／午後〇〇時〇〇分に着信がありました。相手の方が電話番号を通知されていないため、お知らせできません。この記録を消去するときは数字の「9」を押してください。なお、料金はかかりません。」のアナウンスが流れます。(このとき30円(税抜)はかかりません。)

□ 公衆電話からの着信

「着信番号案内サービスです。〇〇月〇〇日 午前／午後〇〇時〇〇分に着信がありました。相手の方が公衆電話からおかけになっているため、お知らせできません。この記録を消去するときは数字の「9」を押してください。なお、料金はかかりません。」のアナウンスが流れます。

(このとき30円(税抜)はかかりません。)

□ 海外からの着信等「着信番号案内サービスです。〇〇月〇〇日 午前／午後〇〇時〇〇分に着信がありました。相手の方の電話からは番号を通知できないため、お知らせできません。この記録を消去するときは数字の「9」を押してください。なお、料金はかかりません。」のアナウンスが流れます。

(このとき30円(税抜)はかかりません。)

■ 使用できない数字をダイヤルした場合

「ご利用方法をお確かめのうえ、おかけ直してください。」のアナウンスが流れますので、一度お切りになり、「136」からダイヤルし直してください。

ご利用上のご注意

- 発着信専用サービス(着信専用)と併用した場合、折返し電話はできません。
- 折返し電話について、発信者番号通知の有無は回線の設定に従うため、通話ごとの変更はできません。
通常通知(通話ごと非通知)…
折返し発信では番号通知されます(非通知にはできません)。
通常非通知(回線ごと非通知)…
折返し発信では番号通知されません(通知することはできません)。
- 番号通知リクエストサービスによる着信拒否通話は着信番号案内サービスの案内対象となりません。
- 多機能転送サービスと併用した場合、転送通話は着信番号案内サービスの番号案内では確認できません。
- 三者通話サービスと併用した場合、三者通話の第2コールで着信番号案内サービスをご利用することはできません。
- ダブル番号サービスと併用した場合、サービス開始状態では着信拒否通話は登録されず、サービス停止状態では主電話番号、副電話番号にかかわらず最後に着信した番号を登録します。
- 着信お断りサービスと併用した場合、着信拒否された通話は着信番号のご案内ではできません。



ISDN番号追加サービス

今お使いの電話番号を含め、最大3つ(2つも可)の電話番号がご利用いただけます。電話機やFAXで番号を使い分けることができます。

ご利用方法

- ①ターミナルアダプタ(TA)のポート(1~3)に応じて、電話機等を鳴らすよう、機器の設定を行ってください。
- ②電話がかかってくると、その電話番号に対応したポートにつながっている各電話機等へつながります。

*本サービス相当に対応したTA等の端末機器が必要です。
*本サービスで3番号登録していても、同時に通信できるのは、2回線までとなります。

ご利用上のご注意

- 多機能転送サービスと併用した場合、追加番号ごとに多機能転送サービスの開始/停止設定および転送先の登録が可能です。サービス特番(「1422」など)ダイヤル時に発信者として設定対象の追加番号を送出する必要があります。(本サービス相当に対応したTA等機器が必要です。)
- 番号通知リクエストサービスと併用した場合、番号通知リクエストサービスは追加番号ごとにサービスの開始、停止登録が必要になります。
- キャッチ電話サービスと併用した場合、着信時はそれぞれ番号ごとの動作になります。



ダイヤルアップサービス

「おとくライン」ダイヤルアップサービスは、専用のアクセスポイントを利用した、「おとくライン」回線のみでご利用いただけるダイヤルアップ型のインターネット接続サービスです。特別なお申し込みは不要で、ダイヤルアップ用のモデムが内蔵もしくは外付けされたパソコンに電話線を接続し、簡単な設定をしていただくだけで、すぐにご利用いただけます。初期費用・月額料金等は不要で、ご利用時間分のみのご請求となります。

料金は接続料金と通信費込みのおトクな料金設定となっています。



料金	
初期費用・月額料金	無料
接続料金+通信費	7.9円(税抜) / 3分ごと終日

接続設定方法

以下の手順でパソコンの設定を行ってください(初回ご利用時のみ設定が必要です)。

Windows 7の場合

STEP 1 [スタートボタン]→[コントロールパネル]の順でクリックします。

STEP 2 [カテゴリ]を選択し、[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

STEP 3 [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

STEP 4 [ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選択し、[次へ]をクリックします。

STEP 5 [ダイヤルアップの電話番号]にご利用になる「0088390109」を入力します。

STEP 6 [ユーザー名]に「otoku」、[パスワード]に「line」を入力します。

STEP 7 [接続名]に「任意の名前」(例：おとくライン)を入力し、[接続]をクリックし、接続を確認してください。

STEP 8 接続が成功すると、「インターネットへの接続を使用する準備ができました」と表示されます。

STEP 9 Internet Explorer を起動し、ホームページが表示されれば終了です。

*ダイヤル回線をご利用の場合、ダイヤル方法を「パルス」に設定してください。
*Windows 7以外のOSをご利用の方や、画面イメージ付きのより詳しい設定案内をご希望の方は詳細な接続設定マニュアルをご入手ください。

接続設定マニュアル

詳細な設定マニュアルは、以下の方法でご入手いただけます。

■ホームページ

「おとくライン」のホームページにアクセスして、マニュアルをご参照いただけます。

<http://tm.softbank.jp/otoku/option/gaiyou17/>

■FAX

FAXでマニュアルを取り出していただくことができます。次頁の電話番号にダイヤルしてください。電話がつながりましたら音声ガイダンスにしたがって、お使いになるパソコンのOS別の情報番号をダイヤルしてください。

<FAX番号>



0088-218-586

通話料金無料
年中無休/24時間

<情報番号>

	OS	情報番号
Windows	Windows 98 設定マニュアル	900
	Windows 2000 設定マニュアル	904
	Windows Me 設定マニュアル	901
	Windows XP 設定マニュアル	902
	Windows Vista 設定マニュアル	903
	Windows 7 設定マニュアル	905
Macintosh	Mac OS 9 設定マニュアル	910
	Mac OS X 設定マニュアル	911

■ 郵送

「おとくライン」カスタマーセンターにお電話ください。

郵送にてマニュアルをお送りいたします。お問い合わせ先は本冊子の裏面をご参照ください。

ご利用上のご注意

■ メール機能について

メールアドレスおよびメールボックスのご提供はございませんが、現在ご利用中の他社プロバイダー メールサービスはご利用可能です。

新規にメールアドレスおよびメールボックスが必要な場合は、別途各社にて提供するメールサービス(例：Yahoo! 等の無料メールサービスやソフトバンクのODN)をご利用ください。

■ ご請求について

アクセスポイントへの着信時からご利用料金が発生します(ユーザ名/パスワード認証中もご利用料金が発生します)。

「おとくライン」サービスの請求書と一括してのご請求となります。

「おとくライン」の各種割引サービスおよびキャンペーンの適用対象外です。

■ その他

ご契約の「おとくライン」回線以外からのご利用はできません。

サービス対応表

サービスの組み合わせによってはお申し込みいただけない付加
下表の「×」の箇所は同時のお申し込みができませんので、お申し

サービスがあります。
込みの前にご確認ください。

* 着信転送サービスは新規受付を終了しています。

(税抜)

付加サービス名称	アナログ	ISDN	月額料金(回線ごと)			工事費(回線ごと)	
キャッチ電話	○	○	事務所/住宅		300円	無料	
番号表示	○	○	事務所	アナログ	1,200円	1,000円	
				ISDN64	1,800円		
			住宅	アナログ	400円		
				ISDN64	600円		
番号通知リクエスト	○	○	事務所	400円*1	住宅	200円*1	1,000円
着信転送(無条件転送機能のみ)	○	○	事務所/住宅		500円	無料	
多機能転送	○	○	事務所	800円*2	住宅	500円*2	無料
ISDN番号追加	×	○	事務所/住宅		1番号追加	300円	1,000円
					2番号追加	400円	
ダブル番号	○	×	事務所/住宅		700円	無料	
三者通話	○	×	事務所/住宅		500円	無料	
着信お断り	○	○	事務所/住宅		600円*1	1,000円	
短縮電話	○	×	事務所/住宅		600円	無料	
着信番号案内	○	×	事務所/住宅		30円*3	無料	

*1 回線または回線群単位の料金となります。 *2 番号単位ごとの料金となります。

※ISDN番号追加サービス・ダブル番号サービス・ダイヤルインサービスにおいて、追加番号・副
タビリティ工事費が必要となります。また、上記サービス解約時についても追加番号等について
※ISDN1500回線については別途お問い合わせください。

*3 1案内ごとの料金となります。

電話番号等(以下、追加番号等)に関し、NTT東日本・NTT西日本から番号を引き継ぐ場合、番号ポー
番号ポータビリティ工事費が必要となります(番号ポータビリティ工事費：1,500円/1番号)。

アナログ	キャッチ 電話	番号表示	番号通知 リクエスト	着信番号 案内	着信 お断り	着信転送	多機能 転送	三者通話	短縮電話	ダブル 番号	付加サービス バック1	付加サービス バック2	付加サービス バック4	付加サービス バック5
キャッチ電話		○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○
番号表示	○		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○
番号通知リクエスト	○	○		○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○
着信番号案内	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信お断り	○	○	○	○		○	○	○	○	○	△	△	△	△
着信転送	○	○	○	○	○		×	○	○	×	×	×	×	×
多機能転送	○	○	○	○	○	×		○	○	○	△	△	△	△
三者通話	○	○	○	○	○	○	○		○	○	△	△	△	△
短縮電話	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
ダブル番号	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○
付加サービスバック1	△	△	△	○	△	×	△	△	○	○		×	×	×
付加サービスバック2	△	○	○	○	△	×	△	△	○	○	×		×	×
付加サービスバック4	○	△	△	○	△	×	△	△	○	○	×	×		×
付加サービスバック5	○	○	○	○	△	×	△	△	○	○	×	×	×	

※付加サービスバックで着信転送サービスをご利用の場合、「ダブル番号」はお申し込みただ
けません。



※△は付加サービスバックに含まれているサービスのため別途お申し込みは不要です。

ISDN	キャッチ 電話	番号表示	番号通知 リクエスト	着信お断り	着信転送	多機能 転送	ISDN 番号追加	付加サービス バック3
キャッチ電話		○	○	○	○	○	○	△
番号表示	○		○	○	○	○	○	○
番号通知リクエスト	○	○		○	○	○	○	○
着信お断り	○	○	○		○	○	○	×
着信転送	○	○	○	○		×	○	×
多機能転送	○	○	○	○	×		○	△
ISDN番号追加	○	○	○	○	○	○		×
付加サービスバック3	△	○	○	×	×	△	×	

68 ※△は付加サービスバックに含まれているサービスのため別途お申し込みは不要です。

～多機能転送サービスの転送等設定方法について～

多機能転送サービスをお申し込みのお客様は、転送先電話番号などの設定が必要となります。「おとくライン」への切り替えが終わりましたら、電話機から操作をお願いいたします。詳しくは本冊子のP.23～P.47をご覧ください。

	アナログ回線	ISDN回線
転送先の登録	142  2  転送先電話番号	1422  転送先電話番号
転送の開始	142  1	1421  転送方法(1～4) P.39をご参照ください。
転送までの 呼出設定	142  3  呼出回数 (0～9回)	1423  呼出時間 (0～11パターン)
	(ご注意)無応答時転送は事前に「転送トークあり」の設定(アナログ回線はP.31、ISDN回線はP.42参照)を行ってください。	
転送の停止	142  0	1420
設定状況の 確認方法	142  8	1428

【マークの説明】  : アナウンスに従って、ダイヤルしてください。

 : 続けてダイヤルしてください。

サービス提供者 ソフトバンク株式会社

- ※記載されている内容は2016年6月現在のものです。
- ※サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
- ※本冊子のサービスに対する記述は、情報を提供する目的で書かれたものであり、保証するものではありません。
- ※「おとくライン」サービス最新情報はホームページ、または「おとくライン」カスタマーセンターでご案内しております(お問い合わせ先の詳細は裏表紙をご参照ください)。
- ※料金表示は税抜表示となります。また、端数切捨てのうえ、ご請求することがありますので、ご請求金額が料金表示と異なる場合があります。なお国際料金は免税です。また、割引は、税抜料金額から差引かれます。
- ※記載されている会社名およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。
- ※本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。

 SoftBank

付加サービスのお申し込み・設定変更

<http://tm.softbank.jp/poq/>

よくあるご質問(FAQ)

<http://tm.softbank.jp/pofaq/>

お電話でのお問い合わせ

「おとくライン」カスタマーセンターへ 9:00～18:00/土日祝・年末年始を除く

 0088-221-221 または 0120-917-221

DRPG-ZN31-A 2016.6 [KPC]